

事業完了報告書

調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ~ 平成30年3月16日
調査研究事項	<p>委託研究</p> <p>ア．設置場所及び施設に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設中学校設置に関する諸条件の検討 <p>イ．対象者及び募集人員に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ調査 <p>ウ．教職員配置・教育課程・指導上の工夫に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学齢期を超えた生徒を対象とする「学習指導要領に基づく学習指導のあり方」の調査 ・学齢期を超えた生徒に対する「心身の発達に応じた教育課程のあり方」の調査 <p>エ．市町村間の経費負担の工夫に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市生徒の受け入れと、他市生徒を受け入れた場合の費用分担に関する覚書の扱いについて <p>オ．その他夜間中学の新設に向けた準備・検討に資すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学を認める生徒の条件の検討 ・就学を判断する教育委員会内のシステムのあり方の検討
調査研究のねらい	<p>川口市では、平成31年度当初に中学校夜間学級を開設する予定であることを平成29年3月に発表した。今後、開設に向けた諸条件の整備を進めるとともに、全国の先進的な事例を研究することにより、川口市立の中学校夜間学級の円滑な開設及び運営を目指していく。</p>
調査研究の成果	<p>設置場所について</p> <p>平成31年4月の開設時には、川口市立芝西中学校 分校として、川口市立県陽高校（川口市並木）の施設を暫定的に利用する。</p> <p>開設と併行して、旧川口市立芝園小学校（川口市芝園町）の敷地内に新校舎を建設する。旧芝園小学校については、蕨駅から徒歩5分の立地にあり、遠方から通学する方にとって立地的には好条件である。</p> <p>ニーズ調査（実施期間 9月25日～10月25日）</p> <p>本市に開設される夜間中学に「通いたい、どちらかといえば通いたい」という前向きな回答をした方が387人であった。</p> <p>通いたい意向を示した方387人のうち、295人が外国籍の</p>

方であり、入学される方の多くが外国籍であることが想定される。義務教育を終了していない方が187人おり、小学校の学習内容を取り扱うことも含め、特別の教育課程を編成し多様なニーズに対応できるようにすることが必要である。

教育課程・指導上の工夫

埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課と連携を図り、日課時制、教育課程の在り方について検討を行った。年間時間数に関する検討や特別な教育課程の編成について情報交換を行った。

市町村間の経費負担の工夫に関すること

他市の受入れについては、奈良県橿原市に訪問し、受入れに関する手続きや、応分負担に関する手順について情報を収集し、県教育局市町村支援部小中人事課と連携を図りつつ研究を行った。他市からの受け入れ手順についてはフロー図を作成し関係市町村連絡協議会において周知を図った。また、応分負担に関する諸手続きの流れと負担金の方向性についても同協議会において提案を行った。

その他夜間中学の新設に向けた準備・検討に資すること

- ・先進校の視察 八尾市教育委員会、八尾中学校
京都市教育委員会

実際の授業の進め方や、入学までの手続き、学校の校則や教育課程等について今後の準備に資する情報をいただいた。

入学要件については、本市の実態（未就学者229人、外国籍3万人以上、不登校生徒400名以上）を踏まえ、学齢期を過ぎた者で、学びなおしを希望する「入学希望既卒者」、不登校のまま卒業を認定された「形式卒業者」、「外国籍の方（在留資格を持つ者）」という想定で進めている。今後は教育機会確保法の趣旨を踏まえ、学齢期の不登校生徒の受入れについても検討していく。

市外からの受入れについて、区域外就学の手続きについて検討を行った。